

## 令和3年(2021)5月『生物季節観測』

昨年、気象庁は生物季節観測の9割を廃止することを発表しました。サクラの開花などは続けますが、ウグイスの初鳴きなどは中止の対象となるそうです。一宮町の松子地区では、昨年は1月末にアカガエルやサンショウウオの産卵が見られましたが、今年は2月4日となり少し遅れ気味でした。ところが春になると、例年より1週間早く、ヤマザクラが8分咲きとなりました。玉前神社では、今までで最も早い3月19日に桜開花宣言が行われました。生物季節観測は、気候変動による生物への影響を知る上でも重要です。一宮ネイチャークラブでは、これからも生物の調査を続けてゆきます。

### <問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

